

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： 幹事会

9	公共施設の相互利用の促進	ビジョン 30ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
圏域内の公共施設の相互利用を促進し、住民活動を支援するとともに、サービスの充実を図る。		
連携事業		
圏域内の公共施設の相互利用を促進するために、システムでの予約・案内が可能な公共施設を増やし、住民活動の支援やサービスの充実を図り、圏域住民が気軽に公共施設を利用できることを目指します。		
連携効果		
圏域内の公共施設の予約・案内がシステムで行えるようになることにより、圏域住民の利便性を向上させ、住民活動を支援・促進することができます。		
5年間の総括		
平成31年4月に公の施設の相互利用に関する協定を各市町と締結し、スポーツ施設や文化施設、図書館、公民館等、175施設（令和7年10月現在）の相互利用を実施しており、住民サービスの向上が図れた。 また、公共施設案内・予約システムについては、令和7年2月にリニューアルし、マイナンバーカードを活用したオンラインでの利用者登録機能やオンラインキャッシュレス決済機能の導入により、住民の利便性を向上することができた。		

事業名		おおいた公共施設案内・予約システム管理運営事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		公共施設の相互利用の促進のため、圏域内の公共施設利用の予約ができるシステムを運営する。						
令和6年度実績	【既存システム】 ・予約システムの管理運営 ・予約システムの端末操作職員研修の開催 【新システム】 ・システム更新にあたり、公共施設を所管する各市町担当課による「公共施設の相互利用促進に関する作業部会」を5回開催（担当者会議含む）。システムの要件定義や運用確認について、各自治体と各種調整を図った。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	132,170千円	2,450千円	685千円	342千円	385千円	638千円	621千円	145千円
	決 算 額				137,436 千円			
令和7年度事業	・予約システムの管理運営 ・予約システムの端末操作職員研修の開催 ・「公共施設の相互利用促進に関する作業部会担当者会議」の開催							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				49,162 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
平成31年4月から大分都市広域圏での相互利用が可能となるシステム（おおいた公共施設案内・予約システム）を運用している。令和7年2月にリニューアルし、新たにマイナンバーカードを活用したオンラインでの利用者登録機能やオンラインキャッシュレス決済機能を導入した。今後も利用者数を増やすとともに、ブラッシュアップを重ね、さらなる市民の利便性や施設利用率の向上を目指す。併せて、職員の負担軽減のために必要なシステムのカスタマイズを行っていく。								

更新後の「おおいた公共施設案内・予約システム」 ホーム画面



事業名		図書館の相互連携事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		広域圏内の図書館における利用登録対象者を、圏内市町居住者に相互に拡大することにより、利用者の利便性の向上を図る。						
令和6年度実績	新規登録者数		1,021人（前年度比 26人増）+2.6%					
	貸出冊数		119,864冊（前年度比2,709冊増）+2.3%					
	貸出者数		27,734人（前年度比3,119人増）+12.7%					
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
		決 算 額			0 千円			
令和7年度事業	・図書館内外（本館・分館）に圏内市町居住者への利用登録促進のポスター掲示 ・市および図書館ホームページに記事を掲載し広報							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
		予 算 額			0 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
圏域全体で登録者数、貸出者数、貸出冊数ともに前年より増加しており、広域化による利便性の向上に効果が出ているものと思われる。今後も利用者ニーズを調査し、利用者の利便性の向上を図る。								

大分都市広域圏にお住まいの方は
大分市民図書館を利用できます

大分都市広域圏内の図書館の相互利用を促進するため、令和5年4月から7市1町にお住まいの方は大分市民図書館を利用できるようになります。
(大分市、別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町)

大分都市広域圏
国が掲げる連携の中核都市圏構想に基づき、平成28年3月に、大分市を中心市として、別府市・臼杵市・津久見市・竹田市・豊後大野市・由布市・日出町とそれぞれ、31の基本連携項目について、連携協約を締結し、大分都市広域圏(7市1町)を形成しました。

図書等貸出券の登録
対象
大分市、別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町にお住まいの方
大分市に通勤・通学している方
必要なもの
本人確認ができるもの(運転免許証、保険証等)
住所が確認できるもの
大分市に通勤・通学している方は勤務先や学校の証明になるもの

ご利用にあたって
・各図書館のルールを守ってください
・図書等を借りる時は、各市町ごとに図書等貸出券が必要です
・貸出する図書等の種類や冊数、貸出期間等は各図書館で異なりますので、利用する図書館におたずねください
・借りた図書等は、必ず借りた図書館に返してください

大分市民図書館 大分市金池町1丁目5番1号
(JCOMビルトナール大分内)
☎097-576-8241

図書館だより 令和5年5月号
別府市立図書館
別府市千代町1番6号
Tel. : 23-2453
: 22-4844

パソコン版 <https://www.city.beppu.oita.jp/tosho/adult/index.html>

4月より新しく変わりました!

◎本の貸出冊数が増えました。
1枚のカードにつき、図書10冊
雑誌3冊まで借りられます。
※予約、相互貸借の上限は、
それぞれ5冊までです。
※貸出期間は15日間です。

◎4月から他の市町村の図書館で
貸出カードを作ることができる
になりました。
大分都市広域相互連携により、別府市
在住の方が、大分市・臼杵市・津久見市・
竹田市・豊後大野市・由布市・日出町の
図書館で貸出カードを作ることができる
ようになりました。(4月以前もカードを作る
ことができた市町村も含んでいます。)

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会：福祉保健部会

10	健康診断の受診率向上	ビジョン 31ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
住民が地域で安心して生活を営めるよう、健康診断の受診に係る啓発及び情報共有に取り組むことにより、健康診断の受診率向上を図る。		
連携事業		
住民が地域で安心して生活を営めるよう、健康診断の受診に係る啓発や広域的な地域医療情報のネットワークの構築などにも取り組むことにより、健康診断の受診率が高い状態を目指します。		
連携効果		
健康診断の実施により、疾病の早期発見と診断結果を踏まえた特定保健指導等による疾病の未然防止を通じて、医療費の抑制が期待できます。		
5年間の総括		
大分県による特定健康診査の推進に加え、健康診断受診率の向上に向け、各市町において健康診断についての周知を図った。		
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方		
健康診断の受診率の向上に向け市町の情報共有を図り、今後の周知方法を検討していく。		

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会：福祉保健部会

11	相談支援機能の強化	ビジョン 31ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
高齢者、障がい者等が地域で安心して生活を営めるよう、相談体制等に係る連携強化を図るなど、支援体制の充実に取り組む。		
連携事業		
高齢者、障がい者等が地域で安心して生活を営めるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活等の相談がしやすい環境づくりに努めます。 また、大分県下全域で取り組んでいる高齢者SOSネットワーク事業を通じて、認知症などにより高齢者が行方不明になった場合に各市町が連携して早期の発見・保護につながるよう支援します。		
連携効果		
専門的な知見を活用した課題解決や特殊なケースにおける対処法などの事例を各市町が共有することで相談支援体制の充実が図られ、地域で生活するための安心・安全の確保が期待できます。		
5年間の総括		
令和4年度に大分市と由布市において、大分市成年後見センターの相互利用等について連携協定を結んだ後、大分市成年後見センターの中核機関への移行および大分市成年後見制度利用促進地域連携ネットワーク協議会を設立した。また、各市町の課題や取組状況を共有する等、相談支援機能の強化に向けた協議を行った。		

事業名	大分あんしんみまもりネットワーク事業	
担当部会	事業概要	
福祉保健部会	<p>高齢者SOSネットワーク事業を大分都市広域圏事業として実施していたが、平成30年度から、県事業へと移行し、事業名を「大分あんしんみまもりネットワーク事業」に改め、県内の全市町村が参加するなかで事業を実施している。</p>	

事業名		成年後見支援センター中核機関事業						
担当部会		事業概要						
福祉保健部会		成年後見制度を必要とする方が安心して制度利用できるよう地域で支える体制を構築する地域連携ネットワークの核となる機関の設置をめざす。						
令和6年度実績	「令和6年度大分都市広域圏推進会議第1回福祉保健部会」 開催日：令和7年2月4日 議 題：成年後見センターの現在の状況について その他							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	34,308千円						4,214千円	
	決 算 額				38,522 千円			
令和7年度事業	圏域の相談支援機能の強化に向けた協議事項を検討している。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				38,622 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
令和4年4月から、大分市と由布市で連携協定を結ぶとともに、10月からは大分市成年後見センターの中核機関への移行および大分市成年後見制度利用促進地域連携ネットワーク協議会を設立した。令和6年5月より大分市役所第2庁舎に移転し、利便性の向上等により相談件数が増加した。引き続き、他の連携自治体と成年後見制度の利用促進に係る相談支援機能の強化に向けた協議を進めていく。								

事業名		介護認定審査会共同運営事業					
担当部会		事業概要					
福祉保健部会		大分市及び由布市は、介護保険法の規定による要介護等の認定に係る審査判定業務の効率性及び公平性を確保するため、地方自治法第252条の7第1項の規定に基づき、共同して、介護保険法第14条に規定する介護認定審査会を設置する					
令和6年度実績	介護認定審査会を大分市と由布市で共同運営することで効率的に業務を実施する。また、介護認定審査会資料のペーパーレス化を引き続き進めていく。						
	大分市						由布市
	57,604千円						5,246千円
	決 算 額				62,850 千円		
令和7年度事業	介護認定審査会を大分市と由布市で共同運営することで効率的に業務を実施する。また、介護認定審査会資料のペーパーレス化を引き続き進めていく。						
	大分市						由布市
	予 算 額				70,529 千円		
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方							
今後も二市で連携し、システムを活用しながら効率的に、介護認定審査会の業務を実施する。							

事業名		【新規】大分都市広域圏熱中症対策健康会議開催事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		行政、民間企業、活動団体および関係機関が相互に情報共有や検討を行い、熱中症対策の拡充を図る「大分都市広域圏熱中症対策健康会議」を開催する。						
令和7年度事業	令和7年5月19日に大分都市広域圏における熱中症事故の防止や、参加企業、団体の活動実績や成果を情報発信し、対策意識の醸成を図ることを目的に、「大分都市広域圏熱中症対策健康会議」を開催した。 また、令和7年10月末に今夏の取組の検証会を開催し、次年度以降の熱中症対策の更なる充実を図る。							
	○令和7年度大分都市広域圏熱中症対策健康会議 【日時】令和7年5月19日（土）14時～ 【場所】大分市荷揚複合公共施設 6階多目的大会議室 【開催目的】 ・大分都市広域圏における熱中症事故の防止 ・参加企業、団体の活動実績や成果を住民へ情報発信し、対策意識の醸成を図る							
	【参加人数】60名（7市1町+31企業・団体）							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
予 算 額				0 千円				
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
圏域が抱えるその他の健康課題等についてもテーマを検討していく。								

令和7年度大分都市広域圏熱中症対策健康会議



熱中症対策啓発ポスター



(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会：福祉保健部会

12	地域子育て支援の充実	ビジョン 32ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
地域で生まれた子どもたちを地域社会全体で育てていくため、子どもを産み、育てやすい地域を目指して、子育て支援サービス等の質の向上、改善等を図るための連携を推進する。		
連携事業		
病児病後児保育や夜間救急など子どもの医療体制の整備や待機児童の解消に向けた取組、関係団体等とも連携した子育て世代の悩み等の相談対応・交流などにより、圏域が子どもを産み、育てやすい地域となることを目指します。		
連携効果		
子どもの高度な医療や救急医療の広域的な受け入れ体制を整えることで、圏域内で医療を必要とする子どもに、必要な医療が迅速に提供されることが期待されます。 各市町や関係団体が有している子育て支援の取組やサービスの情報、ノウハウを共有することで、子育て世代に対する相談対応や支援の内容の多様化や質の向上が期待できます。		
5年間の総括		
病児病後児保育については、令和3年度に県内他市町村所在の病児保育施設の利用を可能とする広域化やスマートフォン等からの予約等が可能となるICTシステムの利用を開始し、利用者数は年々増加している。また、小児夜間急患センター運営支援事業では、コロナ禍も含め、圏域内の準夜帯における小児救急医療体制が維持されており、子育て世代が安心して子育てをする環境整備に繋がっている。		

事業名		小児夜間急患センター運営支援事業						
担当部会		事業概要						
福祉保健部会		準夜帯における小児救急医療体制の確保を図るため、平成24年度に開設した「大分市小児夜間急患センター」の運営を支援する。						
令和6年度実績	＜大分市 小児夜間急患センター＞ 大分市を除く圏域からの受診者：68人（令和6年4月～令和7年3月） ・1ヶ月あたり17人（受診者数：761人〈大分市673人〉） ＜別府市 別府市保健センター内の夜間こども診療＞ 別府市を除く圏域からの受診者：181人（令和6年4月～令和7年3月） ・1ヶ月あたり36人（受診者数：1,430人〈別府市1,023人〉）							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	55,619千円	9,724千円						1,235千円
	決 算 額				66,578 千円			
令和7年度事業	＜大分市 小児夜間急患センター＞ 大分市を除く圏域からの受診者：48人（令和7年4月～令和7年8月） ・1ヶ月あたり12人（受診者数：464人〈大分市407人〉） ＜別府市 別府市保健センター内の夜間こども診療＞ 別府市を除く圏域からの受診者：152人（令和7年4月～令和7年8月） ・1ヶ月あたり38人（受診者数：1,303人〈別府市955人〉）							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				57,193 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
今後も小児救急医療体制を維持し、安心して子育てできる環境整備を図っていく。								

事業名		病児・病後児保育事業						
担当部会		事業概要						
福祉保健部会		病気で集団保育が困難な大分県内の児童（小学生まで）を、保護者の勤務や傷病、冠婚葬祭等により家庭で育児できない場合、病院や診療所等に併設の保育施設で一時的に預かり、保育および看護を行う。						
令和6年度実績	広域圏7市1町をはじめとする県内全市町村において、事業を実施。 広域利用者数（大分都市広域圏のみ）：820人							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	125,262千円	35,192千円	28,905千円	4,270千円	5,643千円	28,392千円	10,208千円	6,009千円
	予 算 額				243,881 千円			
令和7年度事業	広域圏7市1町をはじめとする県内全市町村において、引き続き事業を実施する。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				287,570 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
今後も、病気で集団保育が困難な児童を一時的に預かることで、保護者の子育てと就労の両立支援はもとより、対象児童を持つすべての住民の子育てを支援する。また、県や市町村と連携し、事業内容等の検証を行いながら事業を継続していく。								

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： 幹事会

13	広域的教育の連携	ビジョン 32ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
学校や地域の実情に応じ、特色ある教育活動を生かした交流等による連携を図る。		
連携事業		
圏域では、観光や温泉、高品質で多様な農林水産物など、豊かな地域資源を有していることから、学校や地域を生かした交流等によって周知することで、圏域への理解と関心を深めるとともに、圏域のよさに気付く機会となることを目指します。 また、圏域の若い世代が交流活動をする中で、豊かな人間関係構築の促進を図ります。		
連携効果		
圏域の出身者が圏域の特色ある豊かな資源等への理解と関心を深め、そのよさに気付き、圏域の発展に関わろうとする意欲が育まれることが期待できます。		
5年間の総括		
大分都市広域圏小中学生交流事業や、えひめ・おおいた小学生相互交流事業により、毎年度、圏域内外の小中学生約100名が交流し、圏域の理解と関心を深めることができた。また、学校給食体験事業により、愛媛県・大分県の食文化の相互理解が図れた。		

事業名		大分都市広域圏小中学生交流事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		大分都市広域圏の小中学生が、地域の特色ある産業・文化・資源などを生かした体験活動を通じて各市町の魅力を共有し、互いに交流することにより、教育分野での連携を図り、大分都市広域圏の将来的な結びつきを強める。						
令和6年度実績	・第1回大分都市広域圏小中学生交流事業担当者会の開催(5月21日) ・第2回大分都市広域圏小中学生交流事業担当者会の開催(8月26日) ・大分都市広域圏小中学生交流大会(由布市・大分市)の開催(10月6日) 「梨狩りと神楽体験」を庄内町で実施 ・第3回大分都市広域圏小中学生交流事業担当者会を開催(令和7年2月21日)							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	156千円	66千円					95千円	
	決 算 額				317 千円			
令和7年度事業	・第1回大分都市広域圏小中学生交流事業担当者会 開催(6月27日) ・第2回大分都市広域圏小中学生交流事業担当者会 開催(10月15日) ・大分都市広域圏小中学生交流大会(竹田市)開催予定(12月7日) 「レクリエーションによる交流」と「岡城跡AR体験」を実施予定 ・第3回大分都市広域圏小中学生交流事業担当者会 開催予定(令和8年2月27日)							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				121 千円			
取組の評価と今後(令和7年度以降含む)の方針や考え方								
令和6年度は「梨狩りと神楽体験」を由布市で実施した(大分市・由布市担当)。本事業は平成30年度から実施しているが、今後も7市1町が持ち回りで地域の特色ある産業・文化・資源などを生かした交流事業を圏域内の小中学生を対象に実施する予定としている。								

事業名		愛媛大分郷土料理等の学校給食体験事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		小中学生を対象に、愛媛・大分の特産品や地産地消を活かした郷土料理など、学校給食を通じて食育の機会を提供することで、食文化の相互理解の推進を図る。						
令和6年度実績	【参加市町】大分都市広域圏3市1町及び佐伯市 愛媛県側3市3町							
	大分市	別府市			竹田市			日出町
	決 算 額				0 千円			
令和7年度事業	【参加市町】大分都市広域圏4市1町及び佐伯市 愛媛県側3市3町を予定							
	大分市	別府市				豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				0 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
今後も県内の特色ある農林水産物や地域の郷土料理を食育の一環として、圏域の学校給食等に提供することで、地域の特色ある食文化・伝統に関する興味・関心と理解を深めていきたい。								

事業名		えひめ・おおいた小学生相互交流事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		圏域の未来を担う小学生に、農家や古民家等での宿泊、農山地域の伝統的な生活体験、地域の特徴的な体験を通じて、地域の人々や同世代との交流を楽しみ、それぞれの土地の魅力を味わってもらうことで、将来にわたり活気のある魅力的な圏域の推進を図る。						
令和6年度実績	【日程】令和6年7月27日(土)～28日(日) 1泊2日							
	【場所】大分県臼杵市、豊後大野市							
	【参加者】参加者数：39名 応募総数：80名							
	【内容】 (1日目)・臼杵市観光交流プラザにて愛媛県側小学生のお出迎え ・臼杵石仏の見学、臼杵せんべいの手塗り体験 ・農村民泊体験(臼杵市野津町) (2日目)・ジオパーク体験(豊後大野市資料館・原尻の滝の見学) ・千歳ひょうたんランプ作り体験 ・臼杵市観光交流プラザにて愛媛県側小学生のお見送り							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
110千円	55千円		14千円			28千円	28千円	
決 算 額				235 千円				
令和7年度事業	【日程】令和7年7月26日(土)～27日(日) 1泊2日							
	【場所】愛媛県西予市、宇和島市							
	【参加者】参加者数：39名 応募総数：98名							
	【内容】 (1日目)・西予市商工会本所・宇和支所にて大分県側小学生のお出迎え ・シーカヤック体験(あけはまーれ(西予市)) ・民泊体験(西予市狩江地区) (2日目)・宇和島城見学 ・みかん鯛養殖体験(中田水産(宇和島市)) ・西予市商工会本所・宇和支所にて大分県側小学生のお見送り							
大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町	
予 算 額				1,105 千円				
取組の評価と今後(令和7年度以降含む)の方針や考え方								
引き続き愛媛県と大分県間の交流を深める事業として実施し、圏域の将来を担う小学生を対象に本事業を実施していきたい。								

シーカヤック体験



みかん鯛養殖体験



農村民泊体験



(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： 幹事会

14	文化・芸術の振興	ビジョン 33ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
地域の特色ある文化・芸術活動を推進し、圏域内外の交流を促すことにより、交流人口の拡大及び地域の活性化を図る。		
連携事業		
各市町の特色ある文化・芸術活動を生かしたイベントの開催など、圏域が有する文化・芸術の魅力を圏域内外へ発信し、地域の活性化や交流人口の拡大につなげることを目指します。 また、地方移住を希望するアーティストに対する情報発信や移住及び移住後の活動に関する支援を実施し、圏域がアーティストの移住・定住先として選ばれることを目指します。		
連携効果		
圏域内外のアーティストどうしやアーティストと圏域住民とがイベントの開催等を通じて交流する機会が増加することで、交流人口の拡大が期待されます。 また、各市町が取り組んでいる文化・芸術の振興施策の推進を後押しすることが期待されます。		
5年間の総括		
大分市野津原地域の地域周遊型展覧会やこどもアート学校に圏域内のアーティストを招へいし、ワークショップ等を開催することで、圏域の文化・芸術を振興と交流人口の拡大を図った。		

事業名		アートレジオン推進事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		人口減少や少子高齢化が進む周辺地域に市内外からアーティストを呼び込み、アートイベントや制作活動等を通して文化・芸術の振興を図るとともに、地域住民との交流を促進することで地域の活性化につなげる						
令和6年度実績	野津原におけるアートイベント「開校！野津原アート学校」において、別府市在住アーティストをワークショップ講師として招聘した。							
	大分市	別府市						
	4,500千円							
	決 算 額				4,500 千円			
令和7年度事業	周辺地域（大南・佐賀関・野津原）におけるアートイベント等を通じ、文化・芸術の振興を通じた地域活性化を図る。							
	大分市	別府市						
	予 算 額				4,500 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
周辺地域（大南・佐賀関・野津原）におけるアートイベントの実施や、地域団体へアーティストを派遣する「地域でアート・マッチングプロジェクト」などを通じ、交流人口拡大及び地域活性化を図る。								

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： 幹事会

15	スポーツの振興	ビジョン 33ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
スポーツ活動を通じた、健康の保持・増進及び地域交流を促進するため、住民が様々なスポーツに触れる機会を幅広く提供するなど、スポーツの振興に取り組む。		
連携事業		
おおいた公共施設案内・予約システム等により圏域内の体育・文化施設等の相互利用を図ることで住民が気軽に様々なスポーツに触れることができることを目指します。 また、感染症対策についてのノウハウを共有して集団感染等が起きないように注意喚起を図ります。		
連携効果		
圏域住民にスポーツ活動を通じた、健康の保持・増進及び地域交流を促進することが期待されます。		
5年間の総括		
各自治体をまたがる広域的なルート（やまなみハイウェイ）を活用し、サイクリングイベント事業を実施することで、圏域のスポーツ振興はもとより、地域資源の磨き上げと活用、地域との交流が図れた。 また、おおいた公共施設案内・予約システム管理運営事業により、スポーツ施設等の公共施設の相互利用が推進された。		

事業名	【再掲】 おおいた公共施設案内・予約システム管理運営事業							
担当部会		事業概要						
幹事会		公共施設の相互利用の促進のため、圏域内の公共施設利用の予約ができるシステムを運営する。						
令和6年度実績	【既存システム】 ・ 予約システムの管理運営 ・ 予約システムの端末操作職員研修の開催 【新システム】 ・ システム更新にあたり、公共施設を所管する各市町担当課による「公共施設の相互利用促進に関する作業部会」を5回開催（担当者会議含む）。システムの要件定義や運用確認について、各自治体と各種調整を図った。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	132,170千円	2,450千円	768千円	342千円	385千円	638千円	621千円	145千円
	決 算 額				137,519 千円			
令和7年度事業	・ 予約システムの管理運営 ・ 予約システムの端末操作職員研修の開催 ・ 「公共施設の相互利用促進に関する作業部会担当者会議」の開催							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				49,162 千円			

事業名		【再掲】大分都市広域圏サイクリングイベント事業					
担当部会		事業概要					
幹事会		民間主導によるサイクリング大会開催の実現に向けて、圏域の関係市で担当者会議やテストライドを実施する中で、実施主体となる民間企業に対し大会企画提案ができるよう関係機関と調整を行っていく。					
令和6年度実績	民間主導によるサイクリング大会「やまなみハイウェイSPA RIDE 2025」を開催。 ・主催者 3SEEDS株式会社（Sparkle Oita Racing Team） ・日 時 2025年3月23日（日） ・コース 「ぐるっとくじゅうコース」を基本とした70km ・エイド 大分市、竹田市、由布市、豊後大野市、九重町がスタート地点やコース上にエイドステーションを設置し、参加者へのおもてなしを実施。						
	大分市				竹田市	豊後大野市	由布市
	293千円				300千円		450千円
	決 算 額				1,043 千円		
令和7年度事業	民間主導による大分都市広域圏サイクリング大会を開催予定。 ・主催者 3SEEDS株式会社（Sparkle Oita Racing Team） ・日 時 2026年3月（予定） ・コース 大分市・豊後大野市を通過するコース（予定） ・エイド 大分市、竹田市、由布市、豊後大野市、九重町がそれぞれコース上等にエイドステーションを設置し、参加者へのおもてなしを実施予定。						
	大分市				竹田市	豊後大野市	由布市
	予 算 額				1,450 千円		

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： 幹事会

16	文化財等の保護及び活用	ビジョン 34ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
圏域内の文化財等の保護に努め、それらを地域資源として活用し、地域の歴史・文化に対する住民の認識を高めるとともに、圏域内外の交流を促進する。		
連携事業		
圏域内の文化財等の保護に努め、キリシタン・南蛮文化交流事業を行うことで、地域の歴史・文化に対する住民の認識を高めるとともに、圏域内外の活発な交流を目指します。 また、地域の歴史・文化に対する住民の認識を高めるため、施設公開やイベント等を開催するなど魅力の発信に努めます。		
連携効果		
中世遺跡を代表する大友氏遺跡、竹田市の岡城、豊後大野市のジオパークなど圏域で広域的に歴史文化に触れることができ、地域の歴史・文化に対する住民の認識を高めるとともに、圏域内外の交流の促進も期待できます。		
5年間の総括		
地域に残るキリシタン・南蛮文化遺産を地域の誇り・魅力として磨き上げていくため、「キリシタン・南蛮文化交流協定協議会」に参加する自治体と連携し、おおいた子ども親善大使事業の実施や、子ども親善大使のガイドで県内3市の文化遺産（キリシタン洞窟礼拝堂（竹田市）寺小路摩崖クルス（臼杵市）、大友宗麟公墓（津久見市））を巡るバスツアーを開催するなど、地域住民等に圏域の歴史・文化遺産を周知することができた。		

事業名		キリシタン・南蛮文化交流事業					
担当部会		事業概要					
幹事会		関係自治体が連携・協力し、人的交流を広げることにより、地域に残る文化遺産を広く周知させ、さらなるまちづくりの推進及び地域振興、観光振興の活性化に繋げる					
令和6年度実績	・実行委員会の開催（2回） ・作業部会開催予定（5回） ・キリシタン南蛮文化おおいた子ども親善大使事業（基礎研修、宿泊研修、イベントへの出演） ※圏域外参加自治体：国東市（負担金150千円）						
	大分市		臼杵市	津久見市	竹田市		由布市
	150千円		150千円	150千円	150千円		150千円
	決 算 額				900 千円		
令和7年度事業	・実行委員会の開催（2回） ・作業部会開催予定（4回） ・重ね押しスタンプラリーの開催（9/1～12/26） ・おおいたこども親善大使の募集（9/8～10/24）						
	大分市		臼杵市	津久見市	竹田市		由布市
	予 算 額				900 千円		
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方							
引き続き、地域に残るキリシタン・南蛮文化遺産を地域の誇り・魅力として磨き上げていくため、加盟自治体と連携・協力して情報発信を行っていく。							

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： 商工観光部会

17	雇用対策	ビジョン 34ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
若年求職者、女性、UIJターン希望者等の各種就労支援に取り組む。		
連携事業		
圏域内就職に関する説明会の開催や相談窓口の連携、圏域内での就業希望者と求職案件マッチング運営などを行い、圏域内就職のサポートを目指します。 また、県外で開催されるUIJターン希望者向けの移住相談会に連携して参加し、就職先のあっせん等を行います。 その他、求職者に向けた研修やセミナーを圏域市町で共同開催することで、就労支援を図ります。		
連携効果		
説明会やマッチング事業を圏域で連携することによって、効率的な運営や、より効果的な相手とのマッチングが可能となります。 また、研修等を共同で行うことにより、参加者が限られるテーマの受講者の確保も可能となり、企画・運営に係る事務の効率化が期待できます。		
5年間の総括		
各市町の移住・定住促進事業に関する現状や課題の共有や連携を行い、大分県が設置している「おおいた産業人財センター」と一体となった取組みなど、就業希望者のニーズに合わせた就労支援を実施した。		

事業名		移住・定住就労促進事業						
担当部会		事業概要						
商工観光部会		人口減少社会が到来する中、移住希望者に対して雇用面から支援を行うことにより、移住・定住者の増加を図る。						
令和6年度実績	○大分都市広域圏移住ガイドブックの増刷。 ○合同企業面接会（労働局・県・大分市等主催）での大分都市広域圏ガイドブックの設置。 ○各市町の移住・定住促進事業に関する現状や課題の共有、共同事業の検討等を目的に開催している定期的な担当者会議は、各市町の移住・定住施策の効果向上に繋がっているため、引き続き開催。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	494千円							
	決 算 額				494 千円			
令和7年度事業	○大分都市広域圏移住ガイドブックの増刷。 ○合同企業面接会（労働局・県・大分市等主催）での大分都市広域圏ガイドブックの設置。 ○各市町の移住・定住促進事業に関する現状や課題の共有、共同事業の検討等を目的に開催している定期的な担当者会議は、各市町の移住・定住施策の効果向上に繋がっているため、引き続き開催。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				494 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
説明会やマッチング事業等を圏域で連携することによって、効率的な運営や、より効果的な相手とのマッチングを行うことができた。 今後についても、大分都市広域圏移住ガイドブックの増刷や合同企業面接会（労働局・県・大分市等主催）での同ガイドブックの設置を行うとともに、担当者会議による各市町の移住・定住促進事業に関する現状や課題の共有を行い、各市町連携による移住・定住施策の効果向上に取り組む。								

大分都市広域圏移住ガイドブック



(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： 幹事会

18	市民活動の推進	ビジョン 35ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
圏域内における市民活動を促進するため、地域住民、NPO団体、企業等との交流及び活動の支援に取り組む。		
連携事業		
各地域で市民活動に取り組んでいる住民やNPO団体、企業などが、市町の境を越えて交流・活動できるよう支援することで、圏域全体の地域コミュニティが充実し、安心して住み続けられる地域を目指します。		
連携効果		
地域住民・自治会やNPO団体、企業などの活動に行政が関与することにより、単独では交流する機会が少ない人や団体との交流・連携が期待されます。		
5年間の総括		
圏域自治体の地域おこし協力隊員が、圏域内はもとより、圏域外の協力隊員やOB・OGと連携し、地域の魅力発信を行うイベントを開催した。また、アーティストや地域住民と連携し、海洋ゴミを活用したアートイベント（みんコレDAY「みんなでこれからを考える日」）を開催し、地域間の交流を深めるとともに、地域コミュニティ活性化の取り組みを行った。		
さらに、圏域の若者主体の取組を行う団体等と連携し、高校生主体の活動を支援することで、若者が地域への誇りや愛着を持つきっかけ作りができた。		

事業名		えひめ・おおいたユースエール事業						
		事業概要						
幹事会		若者主体の取組（愛媛・大分の若者の相互交流活動等）を行う団体等に対して支援を行い、愛媛・大分の若者が中心となって取り組む様々なチャレンジを応援することで、圏域内の若者が地域への誇りや愛着を持つきっかけをつくる。						
令和6年度実績	【支援団体】 おおいた・えひめ高校生がつなぐ交流事業実行委員会（事務局/未来応援コミュニティb-roomぶるーむ）							
	【活動内容】							
	・大分県・愛媛県の高校生、学生による実行委員会を結成							
	・10回程度の実行委員会を開催							
	・高校生が企画するイベントの開催							
	＜愛媛・大分の高校生が企画したイベントの開催＞							
	【日程】 令和7年1月26日(日)							
	【場所】 大分市大在公民館							
	【参加人数】 150名							
	【参加高校】（愛媛側）宇和島東高等学校、北宇和高等学校三間分校 N-ジオチャレ（野村高等学校） （大分側）大分東高等学校、大分国際情報高等学校							
	【参加大学生】 日本文理大学・別府大学各1名の学生が当日運営に参加							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	決 算 額				0 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
今後も若者が中心となって取り組む様々なチャレンジを応援し、圏域内の若者が地域への誇りや愛着を持つきっかけをつくっていく。								

事業名		戸次本町地区にぎわい創出事業					
担当部会		事業概要					
幹事会		戸次本町において、「歴史的まちなみの利活用」「新たな魅力の創出・発信」「まちづくりの担い手育成」の3つの視点からにぎわい創出に向けた取組みを行い、地域主体による持続可能なまちづくりを推進する。本事業の一環として、歴史や食文化が共通する都市と連携し、地域間連携事業を実施する。					
令和6年度実績	歴史や食文化が共通する臼杵市及び豊後大野市と連携した取組みにより、都市間の交流を促進するとともに、相互の魅力発信につなげることを目指す。各市の地域団体や地域おこし協力隊と連携しながら取組みを実施することで地域主体の継続的な関係の構築を促す。						
	大分市		臼杵市			豊後大野市	
	1,448千円						
	決 算 額				1,448 千円		
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方							
取組みを通じて他都市と交流し、広域的な関係を構築できた。今後は地域主体による自主自立した活動に移行するが、構築した関係を維持し、相互のイベント出店など継続的な連携を図ることで戸次本町のにぎわいの創出につなげられるよう、必要なサポートを行っていく。							

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： 防災部会

19	減災・防災体制の充実	ビジョン 35ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
大規模災害発生時等における相互応援の円滑化及び地域防災力の向上を図るため、減災・防災体制の充実を図る。		
連携事業		
圏域内の各市町において、自主防災組織等の設置や防災意識の向上に努めるとともに、防災林・ダム・堤防など広域に影響する減災設備の整備を進め、減災・防災を目指します。 また、災害発生時には、適切な情報提供とともに、災害対策本部間の連携や復旧に向けた支援等の受け入れを図ります。		
連携効果		
自主防災組織等の設置や防災意識の向上により、地域防災力の向上が期待されます。 また、災害発生時に各市町が連携して取り組むことで効果的な災害対応、相互応援、復旧ができるようになります。		
5年間の総括		
地域防災力の向上を図るため、市町で自主防災組織の結成促進に取り組むとともに、この5箇年で圏域市町で延べ約800の自主防災組織に対して、約69,500千円の補助金を交付することで、その活動を支援してきた。 また、都市広域圏の圏域外の市町村や県にも協議に参加していただき、災害発生時の被害情報の共有のあり方や、復旧に向けた支援の受入れ体制について検討を重ねてきた。		

事業名		災害時における相互応援						
担当部会		事業概要						
防災部会		大規模災害発生時等における相互応援の円滑化及び地域防災力の向上を図るため、都市広域圏の枠組みを拡大し、平成30年度から大分県内18市町村による、市長会町村会合同防災部会を組織し、災害対策に係る意見交換等を実施する。						
令和6年度実績	・ 市長会町村会合同防災部会 第1回 令和6年7月10日開催 18市町村防災担当課長、大分県防災対策企画課 計26名出席 ※第2回を令和8年2月5日に開催予定であったが、県下到大雪警報発表の恐れがあり、中止したため、事前照会の回答を集約し、後日各市町村に情報共有した。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	決 算 額				0 千円			
令和7年度事業	・ 市長会町村会合同防災部会 第1回 令和7年8月6日開催 18市町村防災担当課長、大分県防災対策企画課 計25名出席 第2回は11月開催予定							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				0 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
平成30年度から大分県内18市町村による、市長会町村会合同防災部会を組織し、県内市町村間の連携強化に取り組んでおり、相互応援のあり方や避難所の機能強化、自主防災組織の活性化支援などについて、意見交換を行うなどしてきた。 大規模災害発生時等における相互応援の円滑化及び地域防災力の向上を図るため、都市広域圏の構成市町に限定せず、引き続き、県下全市町村での減災・防災体制の充実を図っていく。								

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会：一般廃棄物処理施設整備部会

20-1	一般廃棄物の広域処理	ビジョン 36ページ
関係市町	大分市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市	
取組内容		
資源循環型社会及び低炭素社会の形成を図るため、地球温暖化対策の推進及び一般廃棄物の広域的処理に取り組む。		
連携事業		
新環境センターの整備をはじめ、一般廃棄物処理や地球温暖化対策を広域で推進し、資源循環型社会の形成及び低炭素社会の実現に向けた取組を進めることで、脱炭素社会の実現への寄与を目指します。		
連携効果		
老朽化を迎えた施設を新たな施設に建て替える際、広域に共同処理を行う体制を整えることで、スケールメリットの享受を図るとともに、人口減少社会にあって、単独自治体では今後維持管理が困難になる大規模施設の運用の観点からも将来にわたり安全で安定的な運用が可能になることが期待されます。		
5年間の総括		
新環境センター整備事業はこの5年間で用地取得、整備事業受託事業者の選定、設計業務等を経て、現在は本体整備工事を行っています。その間、計23回(R7.8末時点)の部会を開催し、情報共有及び合意形成を図る中、円滑な事業の実施を行ってきました。 引き続き、令和9年10月の稼働開始に向けて、広域での共同処理体制の構築及び脱炭素化社会実現への寄与を目指して連携した取組を行っていきます。		

事業名		新環境センター整備事業						
担当部会		事業概要						
一般廃棄物処理施設整備部会		大分都市広域圏の6市（大分市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市）が共同で集約・新設となる「新環境センター」を大分市に整備するもの。						
令和6年度実績	・新環境センター整備に係る造成工事及び建築工事の実施 ・特別高圧電線路整備の実施 ・国道10号上尾トンネル北交差点改良整備の実施							
	大分市		臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	
	1,936,037千円		102,574千円	22,469千円	46,231千円	83,570千円	119,100千円	
	決 算 額				2,309,981 千円			
令和7年度事業	・新環境センター整備に係る造成工事及び建築工事の実施 ・特別高圧電線路整備の実施 ・国道10号上尾トンネル北交差点改良整備の実施							
	大分市		臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	
	予 算 額				5,701,851 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
定期的に一般廃棄物処理施設整備部会や6市副市長による意見交換を開催することで、6市共通認識の元、事業を進めている。令和9年10月の稼働に向けて、建設工事が本格化するとともに、稼働後の運営に関する協議も開始される予定となっている。								
【今後の予定】								
○令和7～9年度・・・建設工事（契約締結日～令和9年9月30日）								
○令和9年度～・・・供用開始（令和9年10月1日～令和29年3月31日）								

新環境センター整備事業ホームページ



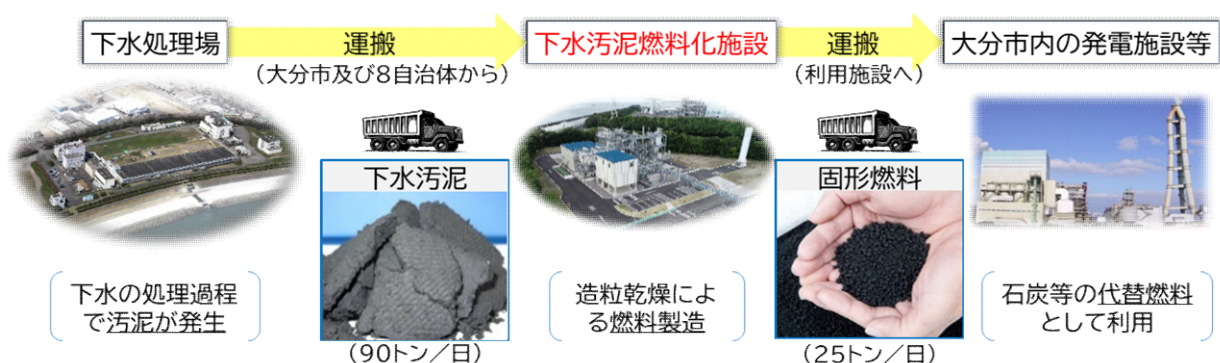
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会：環境部会

20-2	資源循環型社会の形成	ビジョン 37ページ
関係市町	大分市、別府市、日出町	
取組内容		
資源循環型社会の形成を図るため、一般廃棄物の資源化及び排出量の削減に取り組む。		
連携事業		
一般廃棄物の資源化や排出量削減などについて圏域住民へ啓発活動を行うほか、各市町の一般廃棄物の減量やリサイクル推進の取組・ノウハウを共有することで、マイクロプラスチックなど近年問題となっている新たな問題の研究などに連携して取り組み、圏域全体で資源循環型社会の形成を目指します。		
連携効果		
各市町の取組状況やノウハウを共有し、新たな問題の研究に連携して取り組むことにより、各市町で展開される資源循環型社会形成の取組の質の向上が期待できます。 また、啓発活動を圏域で実施することにより、資料の作成や配布などの事務作業の効率化に加え、活動に対しより多くの住民が参加することで住民どうしでの課題解決に向けた活動の創出が期待できます。		
5年間の総括		
「大分都市広域圏プラスチックごみ対策アクションプラン」を策定し各市町にてプラスチックごみ削減の取組を行うとともに、海洋プラスチックごみ問題啓発リーフレットの配布や新聞広告を利用した広報、海洋プラスチック対策動画の製作などに取り組みました。		

事業名		資源循環型社会形成推進事業						
担当部会		事業概要						
環境部会		「大分都市広域圏プラスチックごみ対策アクションプラン」に基づき各市町にてプラスチックごみ対策を行う。						
令和6年度実績	・ 啓発動画の作成（海洋プラスチックごみ問題）。 ・ アクションプランに基づく各市町でのプラスチックごみ対策の実施。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	550千円							
	決 算 額				550 千円			
令和7年度事業	・ 啓発動画の周知（海洋プラスチックごみ問題） ・ アクションプランに基づく各市町でのプラスチックごみ対策の実施							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				6 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
啓発リーフレットの配布によりプラスチックごみ問題についての啓発を行うことができた。（海洋プラスチックごみ問題） 「大分都市広域圏プラスチックごみ対策アクションプラン」に基づき各市町にて取組を行っていく。								

事業名		下水汚泥燃料化事業					
担当部会		事業概要					
上下水道部会		大分市及び県内8自治体から排出される下水汚泥を大分市に建設する下水汚泥燃料化施設に集約。 その汚泥から固形燃料を製造し、再生可能エネルギーの有効利用を図る。					
令和6年度実績	令和6年10月から施設の供用を開始し、大分市、佐伯市、津久見市、日出町から排出される下水汚泥を施設に集約し固形燃料を製造、有効利用を図った。 (大分市：建設費2,309,189千円 維持管理費277,858) 佐伯市負担金：2,140千円						
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市			日出町
	2,584,170千円			113千円			624千円
	決 算 額			2,584,907 千円			
令和7年度事業	令和7年度から、別府市、臼杵市、杵築市、国東市、豊後高田市が共同利用を開始した。これにより、参加自治体すべてでの共同利用が開始された。 (佐伯市外3市26,880千円)						
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市			日出町
	予 算 額			440,613 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方							
令和7年4月から参加自治体すべてでの下水汚泥燃料化施設の共同利用が開始された。引き続き、下水汚泥の有効利用を図っていく。							



事業名		愛媛・大分ビーチクリーン事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		全国的に、そして豊後水道においても大きな問題となっている海洋ごみについて、愛媛・大分の参加自治体でそれぞれ清掃活動を実施し、相互の大切な資源である豊後水道及び圏域のサステナビリティを実現する。						
令和6年度実績	えひめ・おおいた交流事業実行委員会参加自治体や民間団体でそれぞれ行っている清掃活動（海岸等でのゴミ拾いイベントなど）において、ホームページ等での周知及びSNSで発信することにより圏域全体に両県の一体感を醸成する							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
			12千円					
	決 算 額				12 千円			
令和7年度事業	えひめ・おおいた交流事業実行委員会参加自治体や民間団体でそれぞれ行っている清掃活動（海岸等でのゴミ拾いイベントなど）において、ホームページ等での周知及びSNSで発信することにより圏域全体に両県の一体感を醸成する							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				12 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
今後も、各市町と協力して清掃活動を実施し、圏域のサステナビリティを実現していく。								

事業名		リユース活動促進事業					
担当部会		事業概要					
環境部会		新環境センターで処理するごみ量の削減を目的として、不要品譲渡等の情報を掲載するジモティーサイトを新環境センター整備に取り組む6市（大分市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市）のHP等において住民に周知し、住民自らがリユース活動を行うよう促す。					
令和6年度実績	令和6年5月1日に、令和9年度中に稼働予定の新たな一般廃棄物処理施設を共同で運営する6市それぞれが「株式会社ジモティーとのリユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定」を締結し、共通の課題であるごみの削減、資源の有効活用、循環型社会の形成に向けたリユースを促進する。						
	大分市		臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市
	決 算 額				0 千円		
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方							
市HPや市報、啓発資料等にジモティーサイトを紹介。また、市HPに直接ジモティーサイトへのリンクを貼り、リユース・リサイクルを誘導する仕組みを作る。							

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会：環境部会

21	特定外来生物の広域防除	ビジョン 37ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
生態系、人、農林水産物への被害を及ぼすおそれのある特定外来生物の圏域内外からの一掃に向け、広域防除に取り組む。		
連携事業		
生態系、人、農林水産物等への被害を及ぼすおそれのあるアライグマ等の特定外来生物の圏域内外からの一掃に向け、広域防除を目指します。市町の各境界等にモニタリングカメラを設置し、アライグマの生息調査を実施しながら必要に応じて捕獲器を設置し効果的な捕獲を図ります。		
連携効果		
全市町共通の様式を用いた情報の整理、全自動撮影カメラの貸与・設置・報告体制の確立を図るほか、モデル市町における巣箱型わなの設置・運用を主軸にすることで効果的に連携したアライグマ防除が期待できます。		
5年間の総括		
計画的にわなを設置することにより、目標値である年間100,000(※)を達成した。 R3:109,513 R4:112,923 R5:120,671 R6:124,426 R7:48,525(8/15現在) 累計:516,068 ※単位は「わな個数×わなかけ日数」		

事業名		特定外来生物広域防除事業						
担当部会		事業概要						
環境部会		参画市町との情報交換を行い、技術支援を中心とした協力体制を構築し、アライグマ等の特定外来生物の広域防除の推進を図る。						
令和6年度実績	○特定外来生物担当者会議 ・第1回（Web会議）（10月） ・第2回（Web会議）（令和7年2月） ○令和6年度大分市から貸出した巣箱型わなの設置状況 （別府市）巣箱型わな8基 （日出町）巣箱型わな2基 （由布市）箱わな5基							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	3,686千円							
	決 算 額				3,686 千円			
令和7年度事業	○特定外来生物担当者会議 ・第1回（Web会議）（時期未定） ・第2回（Web会議）（時期未定）							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				4,265 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
ここ数年で大分市をはじめ複数の自治体でアライグマの捕獲頭数が増加している。連携自治体は人員不足や時間不足、予算不足等様々な課題を抱えているなか、各市町に合った自律的な対策を検討していく。また、アライグマ以外の特定外来生物についても情報交換しながら防除を推進していく。								

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会：環境部会

22	水源流域の水環境の改善	ビジョン 38ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
水源流域の現状把握及び水環境の有効的な改善を行うため、情報共有・連絡体制の構築を図る。		
連携事業		
水源流域の現状把握及び水環境の有効的な改善を行うため、情報共有・連絡体制の構築を目指します。安心しておいしく飲める水を提供するために、水道水源である河川の水質保全を図るとともに浄水施設能力や水質管理体制の充実・強化に努めます。		
連携効果		
水源流域の環境保全について課題の共有や広域での汚濁防止、水質保全に向けた啓発などを各市町と連携して行うことで、水源流域の水環境の改善が期待できます。		
5年間の総括		
「大分川・大野川水質汚濁防止連絡協議会」に構成市町6市（大分市、別府市、竹田市、由布市、臼杵市、豊後大野市）が参画し、広域連携都市相互の協力や情報共有を促進し、河川の水質の汚濁防止及び改善に努めた。 令和6年度における、大分県内の河川のBOD達成率は95.3%		
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方		
水源流域の環境保全についての課題の共有や連絡体制の構築を検討していく。		

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： 防災部会

23	救急搬送体制の連携強化の推進	ビジョン 38ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
広域的な視点に立ち、人命重視の救急活動を行い、救急搬送体制の連携強化に取り組む。		
連携事業		
圏域外の大分県内の自治体も含めた消防通信指令の共同運用や各市町と連携した消防職員合同訓練などにより救急搬送体制を強化し、どの地域においても迅速かつ的確に人命を救うことができる体制の構築を目指します。		
連携効果		
救急搬送に係る最新のシステムや設備等を共通化することで、各市町が単独で実施するよりも業務の質・効率の向上が期待できるほか、体制整備に係るコストについてもスケールメリットにより各市町の負担が軽減されることが期待できます。		
5年間の総括		
消防指令業務の県内一元化に伴う最新システムの導入により、災害情報の集約と指令業務の迅速化につながるとともに、整備費の縮減が図られた。これにより、小規模消防本部においても高度な運用が開始され、県内のどの地域においても、迅速な対応が期待できる。		

事業名	消防指令業務の共同運用事業							
担当部会		事業概要						
幹事会		県下14消防本部において消防指令業務の共同運用を行い、災害情報・活動情報の一元管理による災害対応力の強化と、将来にわたって必要な消防体制を維持することで、住民の安全・安心を確保するものである。						
令和6年度実績	指令システムの整備及び維持管理							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	29,499千円	1,250千円	575千円	404千円	440千円	554千円	547千円	328千円
	決 算 額				33,597 千円			
令和7年度事業	指令システムの維持管理							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				94,715 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
スムーズな指令管制業務を実施するため、統一したルールを定め、確実な運用を行っている。今後は、安定した運用を継続するため、指令システムの適正な維持管理に努める。								

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： **都市基盤部会**

24	地域公共交通ネットワークの維持・形成	ビジョン 39ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
地域住民の移動手段の確保、利便性の向上等を図るため、地域公共交通ネットワークの維持・形成に連携して取り組む。		
連携事業		
深刻なドライバー不足が進む地域公共交通ネットワークの維持に向け、自動運転車両の実験運行を進めるとともに、オープンデータの活用やAI、MaaS等、新たな技術を活用し、圏域市町住民や来訪者などの利便性や効率性の向上に努めます。		
連携効果		
新たな技術が実用化されることで、地域公共交通ネットワークの維持・形成が進むとともに、ストレスなく快適に移動できる環境が整備されることが期待できます。		
5年間の総括		
地域公共交通ネットワークの維持・形成に寄与する、自動運転やMaaSなどの新たな技術の導入などについては、技術の進展や県・他都市の状況について調査・検討を行い、本部会において情報共有を図った。また、公共交通広域マップの周知や公共交通予約システムについては、現状や課題、利用者のニーズ等を把握し、今後の方向性を整理する必要がある。		

事業名	自動運転車両の実験運行事業	
担当部会	事業概要	
都市基盤部会	高齢者等の移動困難者の支援や過疎地域における移動手段の確保、ドライバー不足への対応など、地域公共交通が抱える課題解決に資する自動運転車両の実験運行を行い、新たなモビリティサービスの創出を目指す。	
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方		
自動運転などの新たなモビリティサービスについて、各市町で進めている取組事例について都市広域圏内で情報共有を進める。		

事業名	バス等の公共交通広域マップ周知事業	
担当部会	事業概要	
都市基盤部会	圏域の公共交通ネットワークについて、広域マップなどの分かりやすい情報の提供を行い、圏域市町住民や来訪者等の利便性向上を図る。	
取組の評価と今後（令和６年度以降含む）の方針や考え方		
鉄道の運行情報を検索できる「JR九州アプリ」や、バスロケーションシステム「バスどこ大分」のウェブサービスを市報、ホームページ等で紹介する。		

事業名	公共交通予約システム準備事業	
担当部会	事業概要	
都市基盤部会	圏域の公共交通ネットワークを補完する各市町の乗合タクシーにおいて、共有できる予約システムの構築の可能性を探る。	
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方		
バスやタクシーの運転手不足が深刻化している中で、各市町の乗合タクシー等の現状と課題、利用者のニーズ等を把握し、今後の方向性を整理する必要がある。		

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会：都市基盤部会

25	広域幹線道路網の整備促進	ビジョン 39ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
圏域内の交通の円滑化を図るとともに、防災性と代替性に富む多極ネットワーク型の地域構造を構築するため、高規格道路網をはじめとする広域幹線道路網の整備を促進する。		
連携事業		
市町を横断する主要幹線道路の整備促進に向け、各市町で一体となって、国・県など関係機関へ働きかけを行い、道路の利便性向上の実現を目指します。 また、各市町の道路整備予定を共有し、計画的な広域道路網の整備を進めていきます。		
連携効果		
広域幹線道路の整備を実際に行う他関係機関へ、各市町で連携して働きかけることにより、影響力を向上させることができます。 また、各市町の道路整備予定を共有・調整することで、道路ネットワークを効率的に整備することができます。		
5年間の総括		
広域幹線道路である、中九州横断道路については、大分都市広域圏の構成市町である大分市、豊後大野市、竹田市が「中九州・地域高規格道路促進期成会」、「豊肥・地域高規格道路建設促進期成会」に加盟しており、「竹田阿蘇道路」の早期着工や「大分～犬飼間」の早期事業化について、関係省庁等に要望活動を行ってきた。 令和4年12月には、「竹田阿蘇道路」の工事に着手し、令和6年4月より、「大分～犬飼間」において、都市計画を定める手続きと併せて環境アセスメントの手続きが進められており、事業進捗が図られている。 また、東九州自動車道については、別府市、日出町、大分市、臼杵市、津久見市が「東九州自動車道大分県北・南促進期成会」に加盟しており、暫定2車線区間の4車線化事業の促進等について、関係省庁等に提言活動を行ってきた。 近年は、「大分宮河内IC～佐伯IC」の一部において4車線化事業が進められる等、整備促進が図られている。 今後も引き続き関係する期成会等を通じて整備促進の働きかけと道路整備の共有・調整を図っていく。		
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方		
東九州自動車道の4車線化や、中九州横断道路の整備等に向けて、機運醸成や要望活動に取り組む。		

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： デジタル部会

26	広域的な情報ネットワークの整備	ビジョン 40ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
住民、観光客等の利便性及び回遊性の向上を図るとともに、地域の観光、防災等の情報を即時に発信するため、広域的な情報ネットワークの整備を促進する。		
連携事業		
広域的にサービス提供をしている無料公衆無線LAN環境の整備の継続及びサービス提供に関する周知活動を実施し、住民や国内外の観光客等が地域の観光や、防災等の情報を取得・活用し易い環境を整備・周知することで、生活における利便性や観光における回遊性の向上を目指します。 また、行政手続の電子化や業務システムの共同利用に向けて各市町が連携して取り組み、行政手続の簡素化や行政事務コストのスリム化を実現することで、充実した市民サービスの提供を目指します。		
連携効果		
アクセスポイントの拡大を図ることにより、住民をはじめ国内外から訪れる観光客の利便性の向上や情報発信が期待できます。 住民に多様な情報を公開することで、生活の利便性の向上を図るとともに住民や企業・団体などと行政が連携した圏域での課題解決に向けた気運の醸成が期待できます。 手続や業務が電子化、デジタル化することで、人口減少社会においても安定して質の高い行政サービスを提供できることが期待できます。		
5年間の総括		
観光拠点等を中心に最大76拠点で、公衆無線LANの整備を行うことにより、観光客等の利便性向上に寄与しました。 一方、携帯電話の通信環境の変化等により、公衆無線LANの必要性が低下したため、令和6年度中に公衆無線LAN拠点の大幅な削減を行いました。 また、電子申請の浸透により、行政手続きのほか、イベント申込やアンケート回答などにおいてもオンライン化が広がり、利用者のサービス向上や職員の業務効率化に繋がりました。		

事業名		無料公衆無線LAN推進事業					
担当部会		事業概要					
デジタル部会		外国人旅行者等の来街者の利便性の向上等を目的として、平成27年度に大分市・別府市・由布市の3市で共同調達した無料公衆無線LANのサービス継続提供や拠点整備を実施するもの。					
令和6年度実績	【拠点数】 大分市：4施設 別府市：12施設 由布市：10施設 合計26施設						
	【（※参考）令和5年度実績】 大分市：53施設 別府市：15施設 由布市：8施設 合計76施設						
	大分市および別府市において、通信環境の変化やポケットWi-Fiの普及等の理由から複数の拠点においてサービス提供を停止した。						
	大分市	別府市					由布市
	12,743千円	3,598千円					8,982千円
決 算 額					25,323 千円		
令和7年度事業	【拠点数】 大分市：4施設 別府市：12施設 由布市：10施設 合計26施設						
	整備済みの拠点における公衆無線LANの安定稼働に努める。 大分市「のつはる天空広場」において、サービス提供の停止予定。						
	大分市	別府市					由布市
	予 算 額					10,338 千円	
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方							
観光客へのインターネットアクセス環境の提供や情報発信力の向上を目的に、大分市・別府市・由布市で連携し無料公衆無線LAN（Onsen Oita Wi-Fi City）の整備を行い、計26施設でサービス提供されている。 今後は、整備済みの拠点におけるアクセスポイントの安定稼働に努める。							

事業名	【再掲】クラウド型システムの共同利用による上下水道施設台帳の整備							
担当部会		事業概要						
上下水道部会		施設台帳データ整備とシステム導入を水道標準プラットフォームを採用して構築し、当該台帳を基に今後の水道施設の維持管理、計画的な更新、災害時への適切な対応等を図る。 契約金額：260,733千円						
令和6年度実績	日本水道協会大分県支部及び大分県下水道協会の活動や大分県水道広域化推進プランの取組を通して県内自治体にシステムの共同利用について引き続き呼びかけを行う。 システム運用費：R6年度～R10年度 89,650千円（単年度 17,930千円）							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	17,930千円							
	決 算 額				17,930 千円			
令和7年度事業	令和7年度は、これまでの会議体での共同利用の呼びかけに加え、新たに発足した上下水道部会においても、県内自治体に対しシステムの共同利用の呼びかけを行う。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				17,930 千円			

事業名	【再掲】クラウド型システムの共同利用による上下水道管路台帳の整備							
担当部会		事業概要						
上下水道部会		DXの推進と広域連携への取組みの一環として、上水道と下水道別々のシステムを利用していた管路台帳システムについて、管理費等の節減や事務効率の改善を図るため、一体的なシステムを構築した。クラウド型のシステムであり、豊の国ハイパーネットワークを利用することで、他市町村との共同利用が可能になる。これにより、災害時には被災自治体の管路台帳システムの閲覧が可能となるため、復旧支援活動をより迅速に遂行できる。						
令和6年度実績	上下水道管路台帳総合システムについて、令和6年4月に津久見市（下水道事業）、臼杵市（下水道事業）が参加。							
	大分市		臼杵市	津久見市				
	70,698千円		79千円	140千円				
	決 算 額				70,917 千円			
令和7年度事業	令和7年度は佐伯市が参加。今後も県内自治体への共同利用の呼びかけを継続する。佐伯市負担金（下水道事業）116千円。							
	大分市		臼杵市	津久見市				
	予 算 額				71,065 千円			

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： 農林水産部会

27	農林水産物の生産振興	ビジョン 41ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
農業技術、圏域内の農地、新規就農者等に関する情報の共有化を図り、規模拡大を目指す農業者及び就農希望者に情報を提供するなど、生産性向上並びに担い手及びそれを支える人材の確保・育成に取り組む。		
連携事業		
各市町で農業技術、圏域内の農地、新規就農者等に関する情報を連携し、農業者及び就農希望者への効果的な情報提供を行うとともにロボット技術やビッグデータなどの新たな技術の導入・活用の支援などにより、圏域内農業の生産性向上とそれを支える人材の確保・育成を図ります。 就農支援ガイドブックの活用や都市圏で毎年開催されている就農相談会における圏域のブースの出展、新規就農バスツアーなどについて内容の充実を図り、新たな担い手の確保を目指します。		
連携効果		
就農者への効果的な情報提供や新たな技術の導入・活用などにより野菜・花きをはじめ多様な産品を有する圏域内農業の強みの長期的な維持・発展が期待できます。 広域圏就農相談会等を企画し、ガイドブックを活用しながら本圏域の農業についてさらなるPRに努める中で、圏域での担い手の確保・育成が期待できます。		
5年間の総括		
就農相談会の開催など主に新たな担い手の確保・育成に取り組んできたが、大分県が同様の事業を実施していることや参加市町の減少（R5参加市町：5市）などにより、令和5年度の開催をもって終了した。 PR動画については、計画期間中、公式ホームページの動画サイト等で公開している。再生数は2,921回（H30からの全市町合計の累計）となっている。 ・大分都市広域圏農林水産業就業相談会 R3：中止、R4：参加市町5 来場者数93人、R5：参加市町5 来場者数59人		

事業名	農業PR動画普及啓発事業	
担当部会	事業概要	
農林水産部会	ホームページやYouTubeにより、広域圏における農業の魅力を広く発信することで、地域農業の担い手の確保を図る。	
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方		
動画の再生数が低調であるため、第3期大分都市広域圏ビジョン以降は動画の公開を停止する。		

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： 農林水産部会

28	有害鳥獣の広域防除	ビジョン 42ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
鳥獣被害対策の効果を向上させるため、イノシシ、シカ、サル等、農林業に被害を及ぼす鳥獣の生息実態等の情報を共有するとともに、効率的な予防及び捕獲に向けた連携を図る。		
連携事業		
鳥獣被害対策の効果を向上させるため、イノシシ、シカ、サル等、農林業に被害を及ぼす鳥獣の生息実態等の情報を共有するとともに、効率的な予防及び捕獲に向けた連携を図ります。		
連携効果		
新型コロナウイルス感染症流行の影響などにより、田園回帰の気運やジビエ等の過疎地域の地域資源への関心が高まっていることから、狩猟を行う担い手の高齢化に対し、効果的な鳥獣対策を行うことができるICT等の先端技術を有する企業等の誘致が期待されます。		
5年間の総括		
県主催の鳥獣対策会議や大分ジビエ振興協議会に参加し、県下自治体と情報共有や効率的な予防及び捕獲の連携、ジビエの消費拡大を図った。		
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方		
県が定期的開催する鳥獣対策会議に参加し、県下自治体と情報共有や効率的な予防及び捕獲の連携を図る。		

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： 農林水産部会

29	農林水産物の消費拡大	ビジョン 42ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
地域特産物の生産、加工及び販売について広域的な視点に立ち、圏域内外への消費拡大を目指した情報発信等に取り組む。		
連携事業		
地域特産物の生産、加工及び販売について広域的な視点に立ち、圏域内外への消費拡大につながるような情報発信を目指します。 圏域の食材を活用して提供される「豊後料理」を提供する店舗の拡大、PRに努めます。		
連携効果		
大分駅南側の大分いこいの道広場で行っている「おおいたマルシェ」を引き続き開催することで圏域内地産地消のさらなる推進を図るとともに、「豊後料理」を提供する店舗の拡大、PRにより観光客をはじめ圏域外への消費拡大が期待できます。		
5年間の総括		
加工品の販路拡大や地産地消の推進、創作料理の提供などに関する事業を実施し、圏域内地域特産物の消費拡大を図った。 ・レベルアップ商談会（エントリー数） R4：35者90商品 R5：38者126商品 R6：40者207商品 ※バイヤー2者ののべ数 ・おおいたマルシェ（来場者数） R4：10,966人 R5：44,253人 R6：47,263人 ※R5、R6の実績は、大分市木育フェス（共同開催）との累計 ・豊後料理（提供店舗数） R4：83店舗 R5：72店舗 R6：48店舗		

事業名	ブランドづくり対策事業							
担当部会	事業概要							
農林水産部会	大分都市広域圏内の6次化商品の販路拡大および商品のレベルアップ（ブラッシュアップ等）を支援するため、食品バイヤーを招聘し、個別商談会を開催する。							
令和6年度実績	○バイヤー招へいによる商談会を令和7年2月18日に開催 実績：40者207商品							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	267千円							
	決 算 額				267 千円			
令和7年度事業	○バイヤー招へいによる商談会を開催予定。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				456 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
展示商談会への出展は予定なし。バイヤー招へいによる商談会については、効果的な商談先を検討しながら今年度中に1回開催予定である。								

事業名		豊後料理普及PR事業						
担当部会		事業概要						
農林水産部会		地元食材や自然、歴史、食文化をいかした新たなおもてなし料理「豊後料理」の情報発信を行い、農林水産物の販路拡大及び大分への誘客を図る。						
令和 6年度 実績	・ 7月～3月に、豊後料理を提供する店舗を募集。 ・ 豊後料理をホームページやSNS等でPRする取組みを実施した。 提供店舗：48店舗							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	398千円							
	決 算 額				398 千円			
令和 7年度 事業	・ 7月～3月に、豊後料理を提供する店舗を募集。 ・ 豊後料理をホームページやSNS等でPRする取組みを実施する。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				338 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
今後も、公式ホームページやSNSを活用しPRする。								

事業名	おおいたマルシェ開催事業							
担当部会	事業概要							
農林水産部会	「おおいたの食」と「地産地消」をテーマとし、市民をはじめとする来場者に、それら産品の情報発信と地産地消の啓発を図る。							
令和6年度実績	令和6年11月9日（土）・10日（日）に大分いこいの道広場で実施。 来場者数：47,263人（2日間合計） ※大分市木育フェスとの共同開催							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	7,687千円							
	決 算 額				7,687 千円			
令和7年度事業	令和7年11月1日（土）・2日（日）に大分いこいの道広場で実施。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				13,317 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
来年度以降も開催予定であり、今後も継続してPR方法を検討し、圏域内産品の情報発信と地産地消の啓発を図っていく。								

おおいたマルシェ



(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： 商工観光部会

30	移住・定住対策	ビジョン 43ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
移住・定住希望者の様々なニーズに対応するため、地域の特性を生かした移住・定住対策に取り組む。		
連携事業		
移住・定住希望者の様々なニーズに対応するため、地域の特性を生かした移住・定住対策を図ります。 また、近年のライフスタイルの変遷に対応し、複数の地域に生活拠点を持つ多拠点生活など、圏域人口の維持に向けた取組を推進します。		
連携効果		
圏域内に存在する地域資源の活用や磨き上げを行い、圏域内外に向けての情報発信や他分野と複合的な取組を行うことで、効果的な移住・定住対策につなげることが期待されます。		
5年間の総括		
各市町と連携し、移住相談会をはじめとする圏域内外に向けた情報発信を行うで、移住希望者の様々なニーズに対応し、エリア全体の移住者の増加につなげることができた。		

事業名		【再掲】移住・定住就労促進事業						
担当部会		事業概要						
商工観光部会		人口減少社会が到来する中、移住希望者に対して雇用面から支援を行うことにより、移住・定住者の増加を図る。						
令和6年度実績	○大分都市広域圏移住ガイドブックの増刷。 ○合同企業面接会（労働局・県・大分市等主催）での大分都市広域圏ガイドブックの設置。 ○各市町の移住・定住促進事業に関する現状や課題の共有、共同事業の検討等を目的に開催している定期的な担当者会議は、各市町の移住・定住施策の効果向上に繋がっているため、引き続き開催。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	494千円							
	決 算 額				494 千円			
令和7年度事業	○大分都市広域圏移住ガイドブックの増刷。 ○合同企業面接会（労働局・県・大分市等主催）での大分都市広域圏ガイドブックの設置。 ○各市町の移住・定住促進事業に関する現状や課題の共有、共同事業の検討等を目的に開催している定期的な担当者会議は、各市町の移住・定住施策の効果向上に繋がっているため、引き続き開催。							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				494 千円			

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

担当部会： 幹事会

31	人材育成・交流	ビジョン 43ページ
関係市町	全市町	
取組内容		
職員の資質及び公務能力の向上を図るため、職員の相互派遣及び交流の強化に取り組む。		
連携事業		
各市町合同での研修開催や職員の相互派遣など、人材育成のノウハウの向上や人材交流の強化に取り組み、職員の資質及び公務能力の向上を図ります。		
連携効果		
圏域自治体の若手職員からなる「未来創造塾」において、圏域の課題の抽出、その対応策について政策提案を行うことで、今後も変化していく社会情勢に対応できる高度な人材の育成につながることが期待されます。		
5年間の総括		
各市町の一般職員及び管理職員を対象に「能力開発研修」や「教養講座」を合同で開催し、圏域の職員の資質及び公務能力の向上が図った。 また、7市1町の若手職員からなる「大分都市広域圏未来創造塾」の第2期（任期：令和3年5月～令和5年3月）及び第3期（任期：令和6年1月～令和8年3月）を立ち上げ、知恵と工夫を活かした新しい発想のもと、圏域で抱える広域的な課題について自主的に調査・研究を行い、課題解決に向けた政策の提案を行うとともに、若手職員の人材育成や自治体間連携における職員の関係性構築を図った。		

事業名		連携強化のための圏域職員研修事業						
担当部会		事業概要						
幹事会		圏域職員を交えての研修を実施する。						
令和6年度実績	・ 令和6年12月19日 能力開発研修開催（対象者：管理職員） 参加者数：105名（うち圏域市町参加者数11名） ・ 令和6年11月中旬 教養講座（対象者：一般職員及び管理職員） 一般職員 参加者111名（うち圏域市町参加者数13名） 管理職員 参加者数93名（うち圏域市町参加者数2名）							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	1,695千円							
	決 算 額				1,695 千円			
令和7年度事業	・ 令和7年9月26日 能力開発研修開催（対象者：管理職員） ・ 令和7年11月中旬 教養講座（対象者：一般職員及び管理職員）							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				1,712 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
今後も、圏域全体の職員の資質及び公務能力の向上と、連携強化を目的とした圏域職員研修事業に取り組んでいく。								

事業名		大分都市広域圏未来創造塾						
担当部会		事業概要						
幹事会		大分都市広域圏の構成市町の若手職員による政策研究チーム（２チーム構成）において、圏域で抱える広域的な課題を自主的に調査・研究を行い、課題解決に向けた新しい発想のもと知恵と工夫を活かした実効性のある施策の提案を行う。						
令和 6年度 実績	・ 令和6年7月24日 ミニシンポジウム（基調講演、パネルディスカッション等） ・ 令和6年11月22日 大分都市広域圏推進会議における中間報告 ・ 先進地視察（前橋市未来政策課、大分大学減災・復興デザイン教育研究センター、佐世保市経営政策課、福岡県子育て支援課） ・ 塾生会議を随時開催 計23回（A班10回、B班13回）							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	277千円	155千円	165千円	82千円	101千円	116千円	95千円	87千円
	決 算 額				1,078 千円			
令和 7年度 事業	・ 先進地視察（日田市防災・危機管理課） ・ 意見交換（大分大学地域連携プラットフォーム推進機構） ・ 塾生会議を随時開催 計12回（A班6回、B班6回） ・ 令和7年11月14日（本日） 大分都市広域圏推進会議における政策提案							
	大分市	別府市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後大野市	由布市	日出町
	予 算 額				1,050 千円			
取組の評価と今後（令和7年度以降含む）の方針や考え方								
定期的な塾生会議に加え、塾長ヒアリングによる進捗確認等を行い、令和7年11月の大分都市広域圏推進会議における政策提案に向け最終調整を行っている。 また、佐伯市を加えた第4期未来創造塾の令和8年度開講に向け準備を進めていく。								

第3期未来創造塾開講式



中間報告（令和6年度推進会議）



重要業績評価指標（K P I）

令和 6 年度実績

第2期 大分都市広域圏ビジョン 重要業績評価指標（KPI）

（1）圏域全体の経済成長のけん引

No.	指標名	基準	令和元年度	令和6年度			令和7年度
			現状値	目標値	実績値	達成状況	目標値
1	自治体と企業等との連携協定締結数（累積）	累積	72 件	82 件	117 件	142.68%	84 件
2	創業支援を活用した創業者数	単年	290 人	326 人	315 人	96.63%	326 人
3	圏域外からの誘致企業件数	単年	14 件	20 件	9 件	45.00%	20 件
4	大都市圏等における販路拡大イベントの参加者数	単年	43,510 人	44,500 人	未実施	0.00%	44,500 人
5	海外への経済交流支援企業数	単年	42 件	46 件	70 件	152.17%	46 件
6	圏域内観光入込客数（※）	単年	23,000,731 人	25,000,000 人	21,902,676 人	87.61%	25,000,000 人

（2）高次の都市機能の集積・強化

No.	指標名	基準	令和元年度	令和6年度			令和7年度
			現状値	目標値	実績値	達成状況	目標値
1	感染症対策及び要配慮者に必要な物資（段ボールベッド、マスク、アルコール消毒液）の現物備蓄数	段ボールベッド	1,088 台	3,400 台	3,991 台	117.38%	3,400 台
		マスク	287,930 枚	815,000 枚	1,301,018 枚	159.63%	815,000 枚
		アルコール消毒液	1,586 本	3,400 本	3,339 本	98.21%	3,400 本
2	圏域内観光入込客数【再掲】	単年	23,000,731 人	25,000,000 人	21,902,676 人	87.61%	25,000,000 人
3	大学等との連携事業件数	単年	51 件	60 件	181 件	301.67%	60 件

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

No.	指標名		基準	令和元年度	令和6年度			令和7年度
				現状値	目標値	実績値	達成状況	目標値
1	県外に対する社会増減		単年	△1,496 人	0 人	139 人	達成	0 人
2	電子申請化した行政手続数（累積）		累積	48 件	84 件	88 件	104.76%	92 件
3	主要公共施設利用者数	文化施設	単年	3,238,284 人	3,950,000 人	3,010,377 人	76.21%	3,950,000 人
		体育施設	単年	2,479,524 人	2,890,000 人	2,995,223 人	103.64%	2,890,000 人
4	特定健診受診率		単年	41.50 %	42.00 %	37.75 %	89.88%	42.00 %
5	広域体験活動事業参加者数		単年	72 人	75 人	65 人	86.67%	75 人
6	自主防災組織避難訓練等実施率		単年	35.10 %	100.00 %	52.17%	52.17%	100.00 %
7	資源化量		単年	44,044 トン	46,000 トン	36,755 トン	79.90%	46,000 トン
8	アライグマ捕獲努力量（わな個数×わなかけ日数）		単年	82,331	100,000	127,869	127.87%	100,000
9	Onsen Oita Wi-Fi City アクセス数		単年	549,082 アクセス	550,000 アクセス	686,264 アクセス	124.78%	550,000 アクセス
10	農林水産業新規就業者数		単年	196 人	200 人	188 人	94.00%	200 人
11	移住施策を活用した移住者数		単年	564 人	650 人	848 人	130.46%	650 人
12	圏域職員対象の研修会開催回数		単年	3 回	4 回	3 回	75.00%	4 回



人と地域を未来につなぐ『大分都市広域圏』

～温泉や南蛮文化など多彩な地域資源を生かした 創造都市圏を目指して～



発行：大分都市広域圏推進会議

編集：大分都市広域圏推進会議事務局
(大分市企画部企画課広域連携推進室)

〒870-8504 大分市荷揚町2番31号

TEL 097-585-5242

FAX 097-534-6182